

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会

編集者：代表幹事 高橋賢一

連絡先：市民活動支援センター

尾張旭市洪川町三丁目5番地7
(洪川福祉センター内)

TEL 0561-51-2878



2011.03.11

今年は大震災テーマに挑戦しました。食文化と遊ぶ文化の結びつきをどう解説するか非常に面白いテーマだと思います。このテーマの最後の切り札は何か、この町から求めて活動すること、せやりがいがあるように思える。本テーマはたゞ単にそのことだけを活動するのではなく、そのことにしめた活動が心に響いて、感懐に育まされるものである。ほいめからあきらめるのではなくそこを自立するのだ。

今年のテーマ「食文化と遊ぶ文化の伝承」



2011.04.15

忘れてはいい。30日の午後。二軒半分の環境未曾有の地震。東日本大震災の目撃者。私はまだま。後知速大の八階にいました。しかし名産屋でこれだけ接収するのだから現地では想像を絶するほどである。護りて笑。お見舞い申し上げます。



2011.04.15

昨年の経験はみんなを成長させた。多くもくと草刈りと側溝清掃に取組み周りから見てもきれいな場所になった。

本地ヶ原児童館で保育園の卒業生がもう来ているよ。児童クラブも入る。これから二十人位になる様です。DSも身体も動かしやすくて楽しくなるようす。

今日で全員けん玉指導終了です。四月からは児童クラブでまた遊ぶかな。保育園の先生からのメッセージ。なかなかまうこと聞かない子がけん玉だけはよくやるので見ていたりだんだん行動が変ってきた。集中力があつて元気になりました。児童館。クラブの先生からのメッセージ。いつもあまり子供達と交じり合わない生徒がけん玉をやりはじめたから驚かすも行動に自信を持って来た。田圃の草取りは土耕し。のあと大変です。桜の下でこんな幸せなひと。



2011.04.18



2011.03.01